



発行者 長洲町中央公民館 副 藤末 編集者 広報長洲編集部 印刷所 中央印刷紙工KK

### 立派なプラット・ホーム

### 建設を検討

有権者 〆明るく正しく 〆と要請

- ☆ 頑丈な、そして立派な人のプラット・ホームを構築すべき日、それは、来たる二十三日、町議会議員の選挙の日である。このプラット・ホームは外に向つては長洲町の発展をうながす各種プランの運行をつかさどり、内にあるのは、ドンナ超重量のものがのしかるうともビクともしないもの、つまり、全町民の希望になつた、このホームは種々の困難があるうとも是非ともきれいで強いものにしたい。
- ☆ 次に掲げる人々を訪問して、ホーム構築の理想像の検討をお願いしました。

- 本田 恭二 山口 育子 杉本 邦夫 浦野 義男
- 菊本 守昌 清瀬 貢 清里婦人学級生
- 浜崎 和子 西林 和代 六栄婦人学級生
- 池上 和代 伊藤千恵子 腹赤婦人学級生
- 田頭 孝止 高野 和子 長洲婦人学級生 (敬称略)

### 町議にはこんな人を



広報長洲紙上をお借りして、一言ご挨拶申し上げます。この度、築地前助役の辞任に伴い、中逸町長の要請と先輩並びに同僚諸氏の強いお奨めにより、非才を省みず助役就任を決定し、去る八月四日の町議会において多数の同意を得まして翌五日から登壇いたしました。しかしながら、私は、みなさまがご承知のとおり、

### 助役に就任して

福本舜一

人格識見共に高邁な築地さんと違い、文字どおり浅学非才で、町議会議員としてましましたもので、執行部入りは初めのことであり、變動する地方自治行政等、全く、ずぶの素人であり、到底、その器でないことは自分自身が一番よく存じておりますが、一たんお引受けしました以上と馬に鞭打って私なりに最上の努力をいたし、町民の福祉向上と

### わたくしが推せんする議員さん

- 町を大乗的立場から見て判断を下す人
- 仕事熱心な人
- 明るい心をもつた人
- 発表力のある人
- かけひきのない人
- 勇気のある人
- 自分の利益を考えない人
- 家庭人としても立派な人
- 公私混同しない人
- 責任感のある人
- 工場誘致に努力する人
- 日頃の行動が立派な人
- 実行力のある人
- 道路の整備に力を注ぐ人



明るく正しい選挙の標柱

### 有権者にのぞむ

- 若い人々は婿探し嫁探しと同様に慎重に選んで下さい。
- 買収等は不潔である。この不潔感を全部の人が認識して下さい。
- 勇気をもって、シツカリと決めて下さい。
- 選挙に当たり「立ち番」の廃止は町民の要望だといふことを自覚して下さい。

○是とする町全体の利益と、地域の利益とは必ずしも一致しない面がある。地区のためになるというのを政策としており込んでいなければ小さな部落のことは見落される危険性がある、地域の実情を積極的に理解した上で広い視野から判断できる人が最も

それは、ごく一部のの発言によって左右されるそこには、みんなの考えがはいっていない。地域推せんだからと云う社会の重圧が個人の意志決定を阻害する又他の立候補しようという人の意志を喪失させるこの両者の意見にはそれぞれ利点と欠点がある存している。この全く相反する意見についても一人一人が十分考察してみることが必要なことである。

これらの多くの意見が出たが要約するに、選挙はあくまで、正しく、自由に行なうことが根本である。

### 議員候補の地域推せんは是非か?

○非とする意見 地域推せんには多くの疑問がある。

長洲町は公明選挙の宣言町として明るく正しい選挙を行なうことを広く社会に宣言してまいります。

長洲町町議選においてはその主旨にのっとり、候補者は自覚をもって明るく正しい選挙に臨みます。

### 明るく正しい選挙へ一歩

### 候補者の決意

### モットモらしき意見

○強力に警察権をつかうことが、明るく、正しい選挙につながるのだ。

○候補者が悪いのだ、買収しなければ、されるものもないのだ、すべての悪さは候補者なのだ。

この二つの意見はチョット大きくと本当にまともな意見のように聞こえる。

この二つの意見について少し考えをめぐらして見よう。

町村自治の根本精神は、町村民自体の自覚と良識によって打ち立てねばならぬ、明るく、正しい選挙も他にたよらず、町民自体の手で実現するよう、一人一人の自覚が必要と思う。

候補者が、お金を使うことを希望するものは一人もいないと思う、候補者を取りまく環境が悪質運動となる候補者も、運動員も、投票者も勇気をもっていただきたい。

私たちは、明るく、正しい選挙が行なわれない理由を他に求めることなく、自分の自覚に求めようではないか、私たちの精神を悪魔に売ることなく、又責任は他に転嫁することなく、一人、一人が正しく、投票にのぞむことを私たちに今与えられた歴史的な急務だと思う。

### よく考えよう

選挙のよび声は絶えず言葉として云われながら、空念仏におぼわっているというものは、この合言葉の実現されぬ理由がどこにあるのだろうか、政治の話など聞くとも、私たちは全く縁遠いものと考えやすい。特に町行政のことは、町議会議員さんにかまかせておけばよいのだ、と思っているならばそれはとんでもない間違いである。

もし全町民がその考えであれば、町の発展はトタンに止まってしまふ。

私たちの町政をよくすることが、私たちの生活をよくする最も早道である。町政に参加することは選挙を通じてのみか、私たちは実現できない。選挙は町の一つの重要な句読点である。この句読点は極めて大きな意味をもっている。

投票に対して、なんらかの障害になるような「モ」があるかとすれば、その大小にかかわらず、私たちが一人一人が取り除く作業をしなければならぬ。

有権者の側の誤った考え方の中に、選挙の時とは別として、平素は議員から酒食の提供を受けることは当然なことだとする風潮が今なお根深く残っているとするなら、地域によっては、そのことを強要する場合だって起り得る、それを拒否すれば、それはたちどころに次の選挙の得票減になつて、はね返ってくる。全く悲しい、シットクである。

代議制度は、有権者にかわって、政治をやつてもらふのだから、その意味では有権者こそ「お願いします」と云う立場であることを決して忘れてはならない。

これらのことを考えて、みんなのデザインが発表される、きたる二十三日は、悔をのこすことがないよう、この句読点は重大な町政に望んでいただくようお願いしたい。○九月十日は中秋の名月であった。

煙中の舗道も芽えて月高



